

山行記録

京田辺 甘南備山と一休寺

年月日	2020年2月17日
天気	曇り時々晴れ
集合場所・時間	JR 芦屋駅: 8時50分
参加人数	16名
歩行時間・距離	2時間35分 8.5Km
費用	1980円(往復)

コースタイム

JR京田辺駅10:20～棚倉孫神社10:30/10:40～一休寺10:55～薪神社11:00～登山道入口(休憩)11:20/11:25～展望台(昼食)11:55/12:25～神南備神社12:30/12:35～三角点12:45/12:50～登山道入口(休憩)13:15/13:20～一休寺13:45(解散、希望者拝観)

感想

JR芦屋駅に集合したのは紅一点の11人。暖かい雨の日曜から打って変わって寒く風の強い月曜となり遠方でもあって少人数の山行か、と思っていたら、あちこちの駅で参加者が増え16名となった。通勤時間も過ぎていた為か、芦屋から京田辺の駅までの一時間、全員座ることができた。ラッキー！

JR京田辺駅に着くと駅前で一休さんの像がお出迎え。今日はいいい天気をよろしくとお願いしてさあ出発。一般道路なので緑の通学路を車に気を付けながら暫く歩いて最初の立ち寄り先の棚倉孫(たなくらひこ)神社に到着。二年に一度の秋祭りで使われる野菜や穀物で作られた色鮮やかな「ずいき神輿」にびっくりし、江戸時代の絵馬が飾られた絵馬殿では古い絵やのにこのままでええんかなあと心配したりして、各自見学とお参り(孫が試験日だというメンバーは特にお参りは真剣！)。

川沿いの遊歩道や住宅街の中を通り、帰路立ち寄る予定の一休寺を横目に見、能楽発祥の碑がある薪神社を過ぎ、漸くのどかな田畑の中の道に出る。出発時は曇り空だったのが徐々に晴れてきて風はあるが日が当たり暖かく感じる。途中目のパッチリしたテニスラケットを抱えた可愛い案山子のお嬢さんに出会ったがマスクをしていたので笑ってしまった。

駅から一時間で登山道入口に到着。六甲山系では見られないというタマミズキの赤い実がまだ残っていないかを期待して舗装された管理道を上り展望台に到着(タマミズキは結局見られず残念!)。甘南備山は平安遷都の時に船岡山と結ばれる直線上に大極殿とかが築かれたという歴史ある山で、雄山と雌山の二つのピークがあり、展望台は高度200m程だが京田辺の街や京都市街地・山々の絶景が見渡せるパノラマスポット。晴れて良かった！

昼食後、すぐ近くにある信仰の山、雄山の神南備神社(同じ、かんなび、だが字が違う、221m)にお参りしもう一方のピークの雌山(三角点、201.6m)へ。ここも展望スポットで、京都タワーが見えた・見えないとひと騒ぎのあと、下山道を一路登山道入口へ向かう。往路と同じ道を一休寺(酬恩庵)まで戻り、予定より半時間ほど早く到着し解散。13名が拝観し、「このはし渡るべからず」の橋を渡ったり、素晴らしい禅宗の建物や枯山水を見たり、お茶屋では甘酒他を飲みながら静かな午後のひと時を過ごし帰路についた。

低山で特に特徴のない山ではあったが、神社・お寺と自然が組み合わせられた山行で、青空の下、のんびり歩きが出来て幸せな気分になれた。晴れ男・女の参加者の方(どなた?)、ありがとうございました！